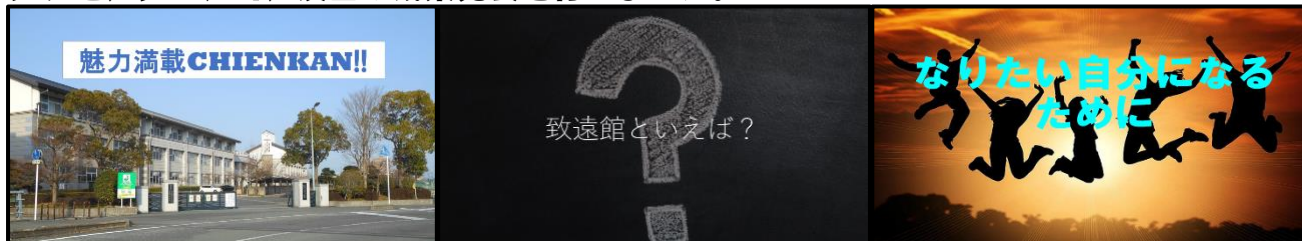




プレゼンテーション演習の成果発表を行いました。



理数科1年生は、SSH研究Ⅰの活動を通して課題研究に必要な能力の育成を行っています。プレゼンテーション演習は、表現力の育成を目的とし実施しています。表現力は、課題研究において自分たちの研究に興味を持ってもらい理解してもらうために必要な能力の一つです。

プレゼンテーション演習では、「中学生に致遠館高校の魅力を伝える」ことを目的としてパワーポイントで資料を作成して発表しました。生徒たちは、致遠館高校の良い点を改めて考え、中学生に伝えるためにどのようにすればよいか試行錯誤しながら資料を作成しました。発表会では、学習環境の良さや先生の指導レベルの高さ、SSHによる理数教育や設備の充実など様々な点を、身振り手振りを交えてアピールしていました。

エリアスタディ・Jr. 課題研究の成果発表会を行いました。

致遠館中学校では総合的な学習の時間を使ってエリアスタディやJr. 課題研究を実施しています。1, 2年生では地域や日本について探究活動を、3年生では興味関心に応じて世界に目を向けた探究活動である「グローバル」か、理数的な実験や演習を伴う「Jr. 課題研究」に取り組んでいます。今回は、各学年の代表が1年間の取り組みの成果をオンラインで発表しました。

<発表タイトル>

1年生：嬉野温泉をもっと有名にするためには

大隈重信をおお札の顔にするには

有明海の生態を守るにはどうすればよいか

2年生：なぜ今、ガラスびんは注目されているのか

日本の米の消費量の減少を抑えるためにはどうすればよいか

佐賀がみかんの産地として全国的に有名になるにはどうすればよいか

3年生（グローバル）：偉人に学ぶスピーチ術

進化する教育

(Jr. 課題研究)：メロスの走る速さ～実際に走った速度を計算してみた～

メダカはどのような感覚を用いて採食行動を行うのか

【発表した生徒の感想】

- 自分たちの研究では正しいと思っていたことが、中間発表会で指摘されて誤りに気付き、今日の発表では修正できたので良かった。
- √や三平方の定理が研究で役に立った。授業で学ぶだけでは実感できないことが、研究を通して体験することでより深く理解できた。

